



北部の医療事情に、
もっと目を向けて下さ
るようお願いします。



北部地区医師会病院長
高芝 潔 先生

P R O F I L E

- 山口大学医学部卒
- 昭和59年 済生会下関総合病院循環器内科医長
- 平成2年 同循環器内科部長
- 平成3年 北部地区医師会病院 循環器科
- 平成16年 北部地区医師会病院 院長

この度は、本会会報に掲載するためのインタビューをお引き受け下さり、誠にありがとうございます。

沖縄県における北部医療圏の実情は、救急医療、産婦人科医療を始めとして、年々、難しい状況になってきていると存じます。広報委員会としましては、その現状を会員の先生方にも知っていただくことで、北部医療圏における協体制、会員相互の協力並びに関係団体との連携を密にして沖縄県内全体での医療・福祉の向上を目指していく一助となればと考え、今回、高芝先生へのインタビューを企画させていただきました。

本日は宜しくお願い致します。

Q1. 北部地区医師会病院は、昨年1月に「地域がん拠点病院」、8月に「地域医療支援病院」に指定されたと存じます。それらの特徴をそれぞれお聞かせいただけますでしょうか。

本島の中で北部保健医療圏はがんの死亡率が219.7（10万対）と中部や南部医療圏と比較して約1.3倍の高さです。この理由は、北部は65歳以上の高齢人口割合が19%を占める高齢地域である事に加え、本島の約50%の面積に10万人が暮らす過疎地域であり、がんに対応できる病院が当院と県立北部病院の2つだけである事等が挙げられると思います。当院のがん診療を充実させる事で、北部のがん死亡率を下げたいと思っています。また、がんの急性期医療だ

けでなく緩和ケアも含めた全人的医療を目指したいと思っています。

昨年8月に地域医療支援病院に指定されました。厚労省の目指す医療機能の分業化を進める事は、医療の無駄を省く上で避けられない事だと思います。当院は医師会が運営する病院のため、会員の診療所の先生方との連携は比較的にスムーズだと思っています。しかし、会員の先生方の中には「かかりつけ医と中核病院の関係」をはっきり理解していない方もおられます。病院への紹介率がまだ80%に到達していないので悩んでいます。また、患者さんも「かかりつけ医」の意義がわかってない方が多く、逆紹介が難しい事があります。今後も引き続き時間をかけて周知してもらうように努めたいと思います。地域医療支援病院の指定を受けてから、一般の外来通院患者は出来るだけ会員施設へ通院するように紹介しております。指定前と比較すると当院の外来患者は約15%減少しております。

Q2. 産婦人科医の不足のため、県立北部病院では産婦人科が休診となったと存じます。現在の医療体制はどうでしょうか。ご苦労話や今後の見通しなども含めてお聞かせいただけますでしょうか。

県立北部病院が産婦人科を休診してから1年半が経ちました。この間北部には名護市内に産婦人科医院が2施設だけとなりました。北部地区の産科診療の実態は名護市内の2医院で低リスク症例の出産を扱っています。それ以外の症例は中南部の病院に紹介しています。産婦人科救急症例に関しては県立中部病院に搬送しています。平成17年度は年間救急搬送数90件余でした。その中で病院到着前（救急車内）分娩が数件ありました。現状はとても満足できません。

当院では8月に産婦人科医師1名を招聘して準備をしており、11月から婦人科を開設します。引き続き医師を確保し体制を整え、なるべく早い時期に産科を追加開設する予定です。

Q3. 臨床研修制度が始まって3年目を迎え、各地・各病院において後期研修に入った研修医がいますが、北部地区医師会病院における研修制度の状況はいかがでしょう。

これまでの取り組みに関する感想や今後の改善点などをお聞かせいただけますでしょうか。

昨年よりRyuMICに参加して琉大の協力型研修病院でありましたが、本年から管理型研修病院の指定を受けて、現在2名の研修医が初期研修を受けています。研修医が少ない事もあって医局の先生達から可愛いがられているようです。当院は医師数も33名と少なく、医局も1つの部屋で医師達はいつも顔を合わせているの

で、診療科の垣根なく研修医は症例に応じて指導を受けているようです。プライマリ・ケア症例数の目安として昨年の救急車搬送件数を見ると約1,200件、救急外来患者数は約6,000件です。症例としては多くありませんが暫時増えていけばと思っています。来年の募集研修医は4名決定しております。後期研修は病院の充実が先で今後の課題としています。

Q4. 本会または日本医師会へのご意見・ご要望などがありましたらお聞かせ下さい。

県医師会はもっと北部の医療事情に目を向けていただきたいと思います。3大死因であるがん、心疾患、脳卒中のいずれも死亡率は中南部と比較してかなり高値です。乳幼児の死亡率もしかりです。沖縄本島内の医療格差を無くしたいと思っています。北部医療の充実が県全体の医療の充実を底上げします。我々と一緒にいろんな事案を真剣に検討していただきたい。北部地区医師会病院は沖縄県医師会の下部組織である地区医師会の運営する病院ですので、皆様の知恵を拝借して実践していきたいと思っています。

Q5. 先生の趣味や座右の銘などをお聞かせいただけますか。

趣味は海で遊ぶ事でしょうか。大切に思う言葉は「信頼」です。

本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。

インタビューアー：広報委員 比嘉 敏夫